

2024年度企画展

# 宇宙からの手紙

隕石の発見から

はやぶさ2の探査まで



Messengers from outside the Earth



2024年

7月24日(水)―11月3日(日)

9時30分―16時30分(入館は16時まで)

休館日：月曜日・火曜日(平日・祝日にかかわらず)、夏季休業日(8/14(水))

観覧料 一般 400円 / 大学生 300円

団体観覧料(20人以上) 一般 3000円 / 大学生 2000円

以下の方々は観覧料無料(証明書類をご提示ください)

● 障害者手帳等をお持ちの方と付き添いの方1名

● 70歳以上または18歳未満の方 / 小学生・中学生・高校生

● 京都府下の大学に在籍する学生

● 京都大学の学生教職員

主催：京都大学総合博物館

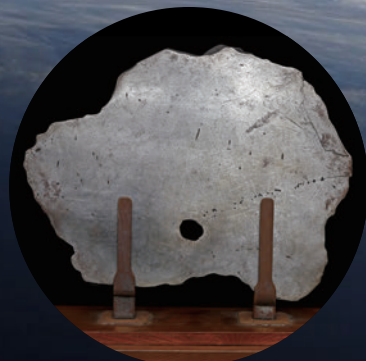
後援：国立研究開発法人 産業技術総合研究所地質調査総合センター

京都府教育委員会、京都市教育委員会

協力：国立極地研究所

京都大学総合博物館





# Messengers from outside the Earth

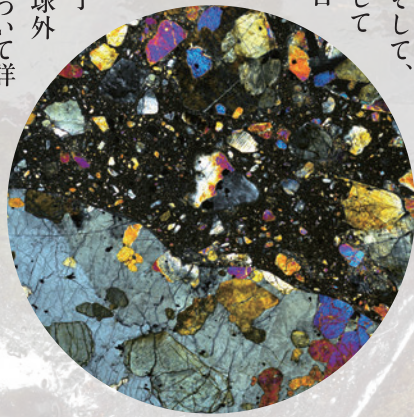
## 宇宙からの手紙

今からちょうど120年前、兵庫県のある村で轟音とともに天より落ちる火の玉が目撃されました。村人の手により、火の玉の正体は重さ4.74kgの塊であることがわかり、その後その鉄塊は京都帝国大学へと渡り研究が行われました。その鉄塊こそが、京都大学における「地球外物質研究」の始まりを告げた「隕石」であり、村の名前から「岡野隕石」と名付けられました。岡野隕石はおよそ46億年前にこの太陽系のどこかで誕生した星の欠片であり、内部にはその星の一生が記録されています。しかし、その記録は「化学組成」に隠されていたり、「岩石の組織」が人知れず物語っていたり、簡単には読み解くことができません。私達は200年以上前からそのような地球外物質―「宇宙からの手紙」―の解読に取り組み、太陽系の歴史を少しずつ紐解いてきました。

現在私達は、隕石に加えて、「宇宙から降ってくる塵(宇宙塵)」や、「探査機が持ち帰った天体の欠片(リターンサンプル)」など、特徴が異なる3種の天体の欠片を手にかけています。そして、それらを解読するために数々の手法を編み出してきました。今回の企画展「宇宙からの手紙 隕石の発見からはやぶさ2の探査まで」では、地球外物質研究の背景と奥深さを、鉱物学という側面から切り取り、可能な限り実物と共に紹介いたします。

本展示では「宇宙からの手紙」である多種多様な隕石に加え、実際の宇宙塵やリュウグウ粒子等リターンサンプルも展覧します。その中で、地球外物質研究の歴史、特に京都大学の今昔の研究について詳しく触れます。また、京都に落下・発見された唯一の隕石である「曽根隕石」の里帰り展示や、昨年度当館の屋上で行われた地球外物質探査など、地元の地球外物質も紹介いたします。

微小な標本が数多く並ぶので、実際の地球外物質研究のスケール感を体感してもらいたいと思います。地球内外の石の比較や、石を読み解く鉱物学そのものについても触れ、さらには「流星刀」の展示(期間限定)などを例に、地球外物質と人々の関わりについても紹介いたします。本企业展示を通して、地球外物質をより身近に感じてもらい、秘められた面白さを伝えられれば幸いです。

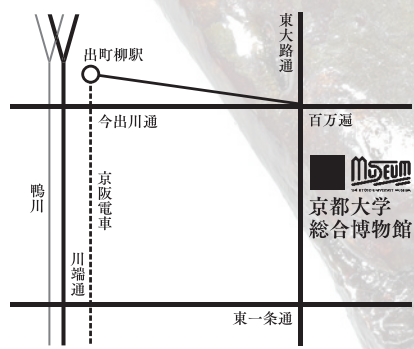


上段右: Sacramento Mountains 隕石 (サクラメントマウンテンズ)  
 上段中: Younegin 隕石 (ヤウンデギン)  
 上段左: Mukerop (Gibeon) 隕石 (ムケローブ;ギベオン)  
 中段左: 曽根隕石 (京都府)  
 下段中: 火星隕石薄片写真(偏光顕微鏡)  
 背景: 岡野隕石

【期間限定展示】  
 「流星刀」と白萩隕石2号  
 (富山市科学博物館)  
 7月24日(水)―9月1日(日)

【関連講演会】開催予定  
 詳しくはHPをご確認ください

【体験会】  
 ●地球外物質を電子顕微鏡で見よう  
 8月21日(水)―23日(金)  
 協力: 日本電子株式会社  
 詳しくはHPをご確認ください



京都大学総合博物館  
 www.museum.kyoto-u.ac.jp  
 〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
 【アクセス】  
 ●京阪電車「出町柳駅」より徒歩約15分  
 ●市バス停留所「百万遍」より徒歩約2分  
 ※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

